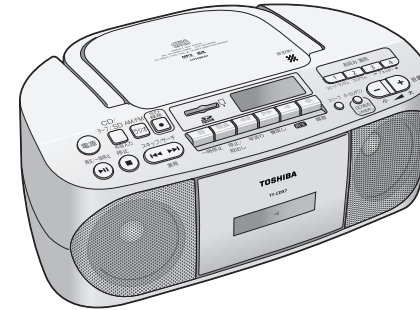


TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝SD/CDラジオカセットレコーダー 取扱説明書

形名
TY-CDX7



- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必要なときすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

- 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝SD/CDラジオカセットレコーダー保証書

持込修理

形名	TY-CDX7				
★お名前	お名前	ふりがな			
	お客様	〒□□□-□□□□			
★保証期間	電話	市外	市内	番号	呼
	本体	1年		★お買い上げ日 □□年□□月□□日から	
★販売店	住所・店名				電話

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝エリートレーディング株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野2-21-10 (東芝上野ビル)

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。

また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- (イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
 - (ハ) 火災、天災地変(地震、風水害、落雷など)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
- (二) 本書のご提示がない場合。

(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。

(ヘ) 一般家庭用以外(たとえば業務用など)に使用された場合の故障、損傷。

2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

5. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

6. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、東芝エリートレーディングサポートセンターへご相談ください。

東芝エリートレーディングサポートセンター

TEL 0120-28-0488
受付時間: 365日 9:00~20:00

携帯電話・IP電話など
050-3786-0488 (通話料: 有料)

FAX
03-3258-0470 (通話料: 有料)

※お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
※利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきます。

東芝エリートレーディング株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野2-21-10(東芝上野ビル)

もくじ

安全上のご注意	2~4
CDについて	5
SDカードについて	6
カセットについて	6
各部のなまえ	7~11

リモコンの準備と使いかた	12
電源について	13

CDを聴く	14
SDカードを聴く	16
いろいろな聴き方	18
ラジオを聴く	20
テープを聴く	22
カラオケを楽しむ	24
外部音声機器を聴く	25
ヘッドホンで聴く	26
スリープ機能を使う	26
SDカードに録音する	27~31
録音したデータを消去する	32
テープに録音する	34

お手入れのしかた	36
故障かな?と思ったとき	37
仕様	38
保証とアフターサービス	39

ご使用前に

準備

使いかた

こんなときは


安全上のご注意

必ずお守りください


●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。


表示の説明

 **警告** 「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。

 **注意** 「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。


図記号の説明

 中の絵と近くの文で、してはいけないこと(禁止)を示します。

 中の絵と近くの文で、しなければならないこと(指示)を示します。

もし異常が起ったら

警告


 **指示**

- 異常・故障時には、すぐに使用を中止し、電源コードを抜く
- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 内部に水や異物が入った
- 電源コードが傷んでいる
- 音声が出ないことがある
- 電源コードが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

火災・感電の原因となります。すぐに電源コードを抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

電源コード・電源プラグについて

警告


 **指示**

- 電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込む
- 本機の電源スイッチを切っても、内部の電源は完全に切れていないので、万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する
- 電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやホコリがついている場合は、プラグを抜き、ゴミやホコリをとる
- 電源コードを取り扱うときは、次のことを守る

●傷つけない	●延長するなど加工しない	●加熱しない
●引っ張らない	●重いものを載せない	●はさまない
●無理に曲げない	●ねじらない	●束ねない

- 電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く


取り扱いを誤ると、感電や発熱による火災の原因となります。

 **禁止**

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない


火災・感電の原因となります。

注意

 **指示**

- 長時間使わないときやお手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

火災・感電の原因となります。


 **禁止**

- 電源プラグは付属のもの以外を使用しない
- 付属の電源プラグを他の機器に使用しない

火災・感電の原因となります。


ご使用について

警告

 **禁止**

- 分解・修理・改造はしない
- CD挿入部に手を入れない
- 異物を入れない
- 雷が鳴り出したら、FMアンテナ・電源プラグに触れない
- 通風孔をふさがない
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けしない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- あお向け・横倒し・逆さまにしない

火災・感電・事故の原因となります。


 **指示**

- 持ち運ぶときは、FMアンテナを収納、電源プラグをコンセントから抜き、両手でしっかりと持つ。
- 落としたり、強い衝撃を与えて本体を破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

火災・感電・けがの原因となります。

設置について

警告

 **禁止**

- 次のような場所には置かない、使用しない

- 雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気が多い場所
- 雨、きりなどが直接入り込む場所
- 火のそば、暖房機器のそばなどの高温になる場所
- 直射日光の当たる場所、炎天下の車内
- ホコリの多い場所
- 調理場など油煙や湯気のアたる場所
- 振動の強い場所
- 腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)の発生する場所
- 極端に高温、低温、温度変化の激しい場所
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所

火災・感電の原因となります。

お願い

●近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

ご使用前に

安全上のご注意(つづき)

乾電池について

⚠ 注意



指示

●乾電池を取り扱うときは、次のことを守る

- 指定以外の乾電池を使わない
 - 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
 - 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
 - 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は使用しない
 - 水にぬらしたり、ぬれた手で触れない
 - 直射日光の当たる場所や火の近くなどの熱源の近くに置かない
 - 長時間使わないときは、本機から乾電池を取り出す
- 発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具についた場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機は全てのSDカードに記録されているオーディオファイルの再生を保証するものではありません。

著作権について

- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

録音についてのお願い

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。

CDについて

■CDの種類について

- マークの入ったものなど、JIS規格に準拠したディスクをご使用ください。
- コピーコントロールCD、特殊形状ディスクなどのCD規格外ディスクを使用された場合には、再生および音質の保証はできません。

■CD-R/RWディスクについて

- この商品は、CD-DAフォーマット* /MP3オーディオファイルで記録されたCD-R/RWディスクを再生することができます。ただしディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- 未記録のCD-R/RWディスクを入れしないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクを傷つけることがあります。
- 再生可能なフォルダー数は最大999、ファイル数は最大999です。
- MP3ディスクについては、ファイル形式がMP3(MPEG Audio Layer-3)方式での再生ができます。
- CDの再生中はCD ふたを開けないでください。CDを傷つけることがあります。
- VCD(ビデオCD)は再生できません。

* CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている音楽収録用の規格です。

■取り扱い・保管について

(機器の故障原因になりますので次のことをお守りください)

- CDに紙やシールを貼らない。
- CDを曲げない。
- 必ず専用ケースに入れて保管する。
- 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かない。

■CDのお手入れについて

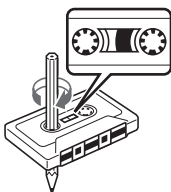
- 再生する前に、再生面についたホコリ、ゴミや指紋などを柔らかい布で中央から外側に向かって拭いてください。
- シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

SDカードについて

- 本機は、SD規格に準拠したSDカードに記録されたMP3オーディオファイルを再生します。
- 著作権保護付の音楽ファイルは再生できません。
- SDカードは32MBから32GBまでのFAT16またはFAT32に対応しています。FAT12には対応していません。
- デジカメや携帯電話などの画像データの入ったSDカードは録音・再生できません。
- マイクロSDカードやミニSDカードはSD変換アダプターが必要です。
- SDカードの読み込み時の表示は全フォルダ数と全ファイル数です。
- 再生可能なフォルダ数は最大999、ファイル数は最大999です。
- SDカードを利用する場合は、それぞれの取扱説明書に従ってください。記録状態によっては再生できない場合があります。
- SDカードの再生中に振動や衝撃を与えたり、再生中に取り出したりしないでください。データ消失や故障の原因になります。必ず電源を切ってから取り出してください。
- パソコンなど他の機器で作成/編集されたSDカードまたはUSBメモリーを再生した場合、フォルダ構成が変わることがあります。
- 反りなど変形したSDカードは正しく接続されなかったり、取り出せなくなったりするので、使わないでください。
- SDカードにフォーマットが必要なときは、それぞれ専用のソフトウェアで行ってください。
- 規格団体SDAに認定されていないSDカードについては、読み込まなかったり、再生できなかったり、録音できなかったりすることがあります。認定されているSDカードには、認定マークが表示されています。
- SDカードは、認定されている東芝製をおすすめします。

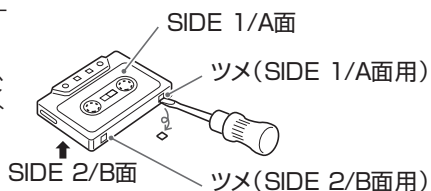
カセットについて

- ノーマルテープ(TYPE1)をご使用ください。
- ハイポジション(TYPE2)やメタル(TYPE4)テープは再生できますが、その特性を活かすことはできません。また録音すると正しく録音・消去できません。エンドレステープは使用できません。
- 100分以上の長時間テープはたいへん薄く、伸びやすいため、機械に巻き込まれるおそれがありますので、使用しないでください。
- テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってから使ってください。テープの巻きつきなどの原因になります。



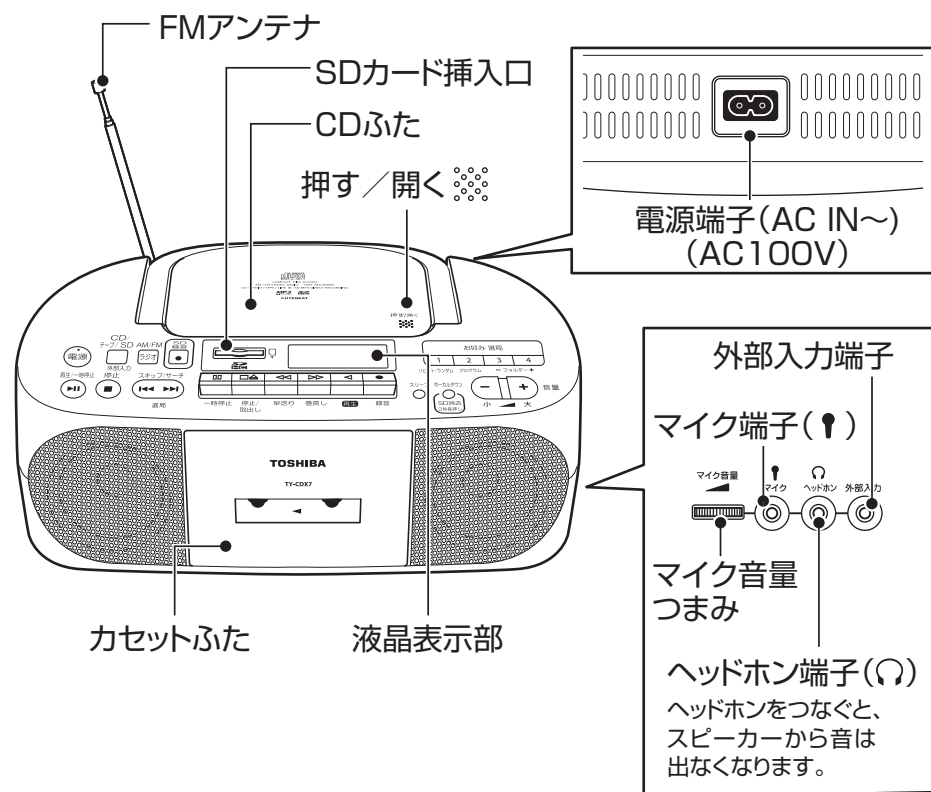
■大切な録音を消さないために

- カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。
- 誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで誤消去防止穴をふさいでください。
- 次のような場所には保管しないでください。
 - ・ホコリの多いところ。 ・磁気の発生するところ。
 - ・高温や湿気の多いところ。



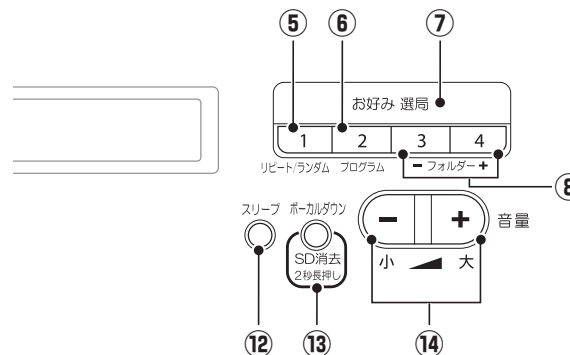
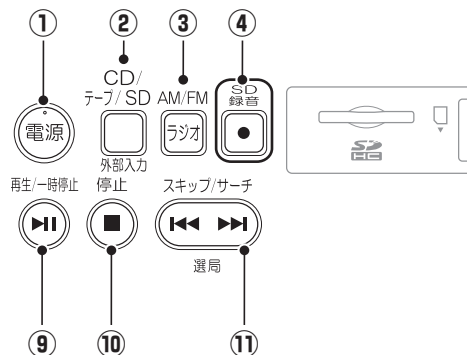
各部のなまえ

本体

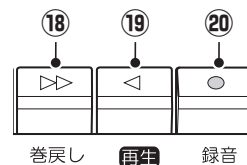
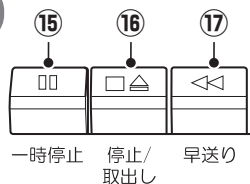


ご使用前に

CD・SD・ラジオ操作部



テープ操作部

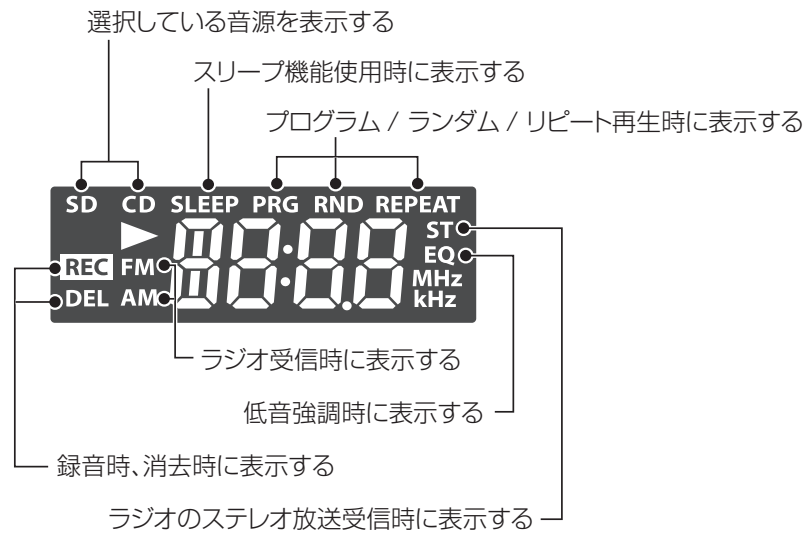


No.	ボタン名	はたらき
①	電源	・電源を入/切する
②	CD/テープ/SD/外部入力	・音源を切り替える
③	ラジオ AM/FM	・ラジオ受信を行い、AM/FMを切り替える
④	SD録音	・SDカードに録音する
⑤	リピート/ランダム	・リピート/ランダム再生を設定する
⑥	プログラム	・音楽のプログラムを設定する
⑦	お好み選局(1、2、3、4)	・お好みの放送局を登録/再生する
⑧	フォルダー +/-	・MP3のフォルダーを選ぶ
⑨	再生/一時停止	・音楽を再生/一時停止する
⑩	停止	・音楽の再生/録音を停止する
⑪	スキップ/サーチ/選局	・曲順送り/戻しをする ・ラジオの選局をする


No.	ボタン名	はたらき
⑫	スリープ	・スリープ再生を設定する
⑬	ボーカルダウン	・楽曲の歌声を小さくしてカラオケ用の音楽にする
	SD消去	・SDカードのデータを消去する
⑭	音量	・音量を調節する
⑮	一時停止	・テープを一時停止する
⑯	停止/取出し	・テープを停止する ・テープを取り出す
⑰	早送り	・テープを早送りする
⑱	巻戻し	・テープを巻き戻しする
⑲	再生	・テープを再生する
⑳	録音	・テープに録音する

各部のなまえ(つづき)

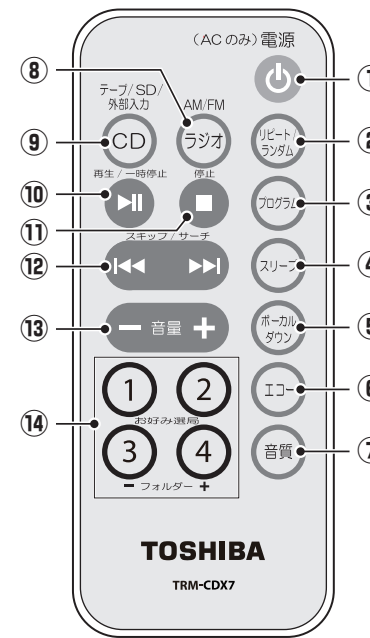
液晶表示部



お知らせ

・この説明書では、点滅中の文字を  で囲んで表示します。

リモコン

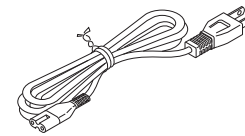


No.	ボタン名	はたらき
①	電源	・電源を入/切する
②	リピート/ランダム	・リピート/ランダム再生を設定する
③	プログラム	・音楽のプログラムを設定する
④	スリープ	・スリープ再生を設定する
⑤	ボーカルダウン	・楽曲の歌声を小さくしてカラオケ用の音楽にする
⑥	エコー	・エコーをかける
⑦	音質	・低音を強調する(押すたびに入/切します。)
⑧	ラジオ AM/FM	・ラジオ受信を行い、AM/FMを切り替える
⑨	CD/テープ/SD/外部入力	・音源を切り替える
⑩	再生/一時停止	・音楽を再生/一時停止する
⑪	停止	・音楽の再生/録音を停止する
⑫	スキップ/サーチ	・曲順送り/戻しをする ・ラジオの選局をする
⑬	音量	・音量を調節する
⑭	お好み選局/ フォルダー +/-	・お好みの放送局を登録/再生する ・MP3 フォルダ―を選ぶ

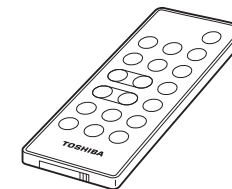
ご使用前に

付属品

本機に、付属品として以下のものが同梱されていることを確認してください。不足しているものや破損しているものがあつた場合は、お早めにお買い上げの販売店にご連絡ください。

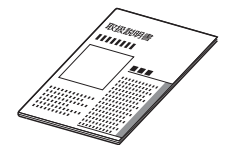


電源コード



リモコン

・お買い上げ時は、リチウム電池(CR2025)が入っています。



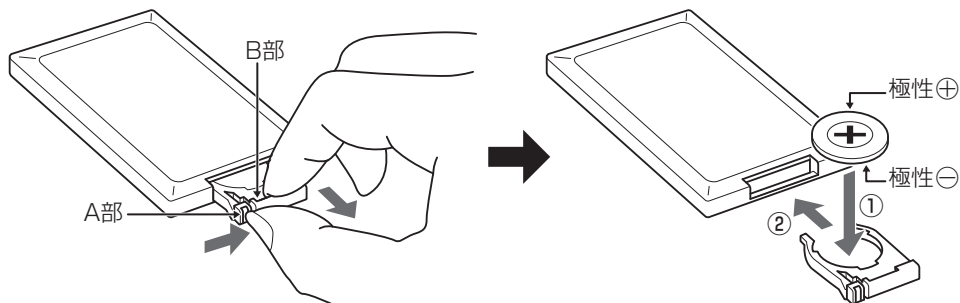
保証書付取扱説明書(本書)

リモコンの準備と使いかた

電池の入れかた

購入後初めてリモコンをご使用の場合は、電池ケース部の絶縁シート(透明)を引き抜いてください。取り付け済(付属)の電池はおためし用です。

リチウム電池CR2025を図のように入れ、電池ケースを閉めます。



電池ケースのA部を親指のツメで押しながら、人差し指のツメをB部に掛けて引き出す。

電池ケースの古いリチウム電池を取りはずし、新しいリチウム電池(CR2025)を図のようにはめ込み、カチッと音がするまで押し込む。

ご注意

- ・指定以外の電池を使用しないでください。
- ・電池の極性(⊕と⊖)は正しく入れてください。

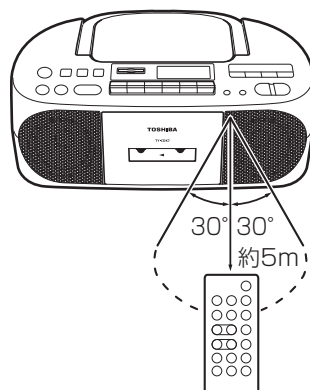
使いかた

本体のリモコン受光部の正面から約5メートル、左右30度の範囲内でお使いください。

正しく動作させるために

次のような場合、リモコンが正しくはたらかないことがあります。

- 本体とリモコンの間に障害物があるとき。
- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき。



電源について

家庭用電源(AC100V)で使用するとき

1 付属の電源コードの供給プラグを背面の電源端子(AC IN~)の奥までしっかり差し込む

- 電源供給プラグが途中までしか入っていないと、プラグが抜けやすくなったり、電源が入らないことがありますので、プラグは必ず奥までしっかり差し込んでください。

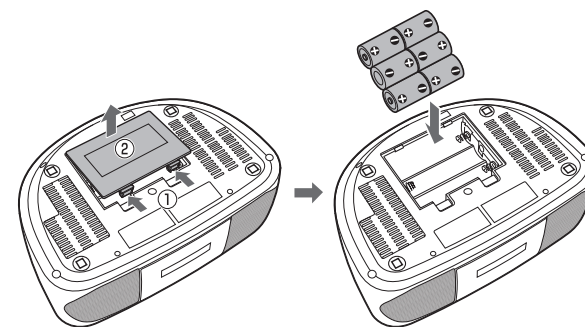
2 電源プラグを家庭用電源(AC100V)のコンセントへしっかり差し込む

お願い

- ・電源プラグを抜くときは、電源スイッチを押して、電源を切ってから行ってください。
- ・電源を切った状態でも、電源プラグを電源コンセントに差し込んだままだと、わずかですが電力が消費されます。消費電力を完全になくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

乾電池(別売り)でご使用するとき

電池ぶたのツメ(2カ所)を押ししながら①持ち上げて開け②、別売の単2形乾電池6本を図のように入れてふたを閉めます。



- 極性(⊕と⊖)を間違えないように図のように入れます。
- 電源コードが電源端子(AC IN~)に挿入されているときは、乾電池の電源は切れた状態になります。
- 長期間(1カ月以上)使用しない場合や家庭用電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。

乾電池の交換時期は…

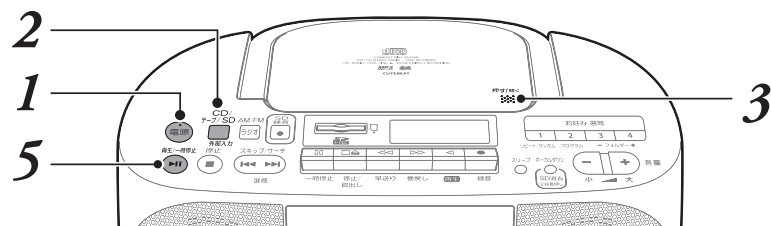
- ・乾電池が消耗してくると、音が小さくなる、音がひずむ、液晶表示が暗くなる、CDが正常に動作しない、などの現象を生じます。

お願い

- ・近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

CDを聴く

・本機で再生できるディスクについては5ページをご覧ください。



1 電源を押す

- 電源が入ります。

2 CD/テープ/SDを押す、CDに切り替える

- 押すたびにCD ⇒ SD ⇒ TAPE ⇒ LINE ⇒ CD …と切り替わります。



3 押す/開くを押してCDふたを開け、印刷面を上にしてCDを入れる



4 CDふたを閉める

- カチッと音がするまで確実に閉めてください。
- 約5秒後に液晶表示部に以下の通りに表示されます。
CD-DA：総曲数と再生総時間が表示されます。
CD/MP3：総トラック(ファイル)数が表示されます。

5 再生/一時停止を押す

- 曲番1から再生が始まります。再生中の操作のしかたは、15ページの「CD再生中の操作のしかた」を参照してください。
- 曲番と再生経過時間が表示されます。

お知らせ

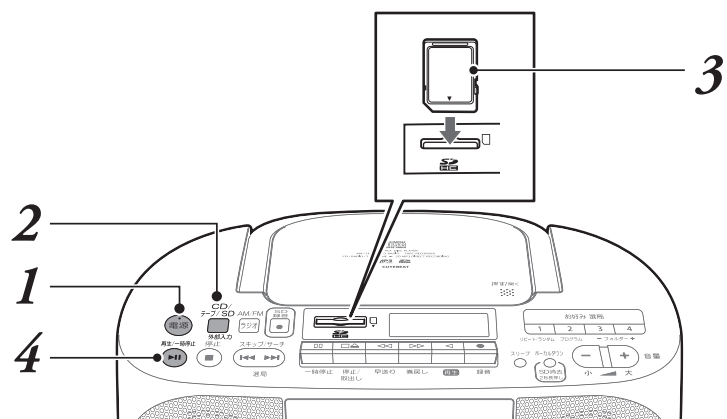
- CDが入っていない場合「NoCd」が表示されます。
- CDを挿入すると「- - -」が点滅表示され、CDの読み込みが始まります。
- 本機はCD-DA/MP3が再生できます。

CD再生中の操作のしかた

再生する	再生/一時停止 を押す ディスクの再生が始まります。 ・再生トラック番号と再生経過時間が表示されます。 ・1曲目から最終曲まで順に再生し、曲が終了すると停止します。
音量を調節する	音量 を押す 小 大 ・音量は00～31の調節ができます。
一時停止する	再生中に を押す ・もう一度押すと再生が始まります。
停止する	再生中に を押す
前の曲や次の曲を聴く(スキップ)	再生中・一時停止中・停止中に を押す スキップ/サーチ 選局 ・ を押すと次の曲へ進みます ・ を1回押すと再生中の曲の頭に戻り、2回押すと前の曲に戻ります。
早送りや早戻しをする(サーチ)	再生中または一時停止中に を聴きたい所まで押したままにする スキップ/サーチ 選局 ・ を押すと早戻しになり、 を押すと早送りになります。
前のフォルダーの曲や次のフォルダーの曲を聴く	CDRディスクに複数のフォルダーが作られているときは、 を押すと切り替えることができます。 再生中に を押す ・ を押すと次のフォルダーへ進み、 を押すと前のフォルダーに戻ります。

SDカードを聴く

SDカードの音楽を聴きます。一般に、SDカードはCDのアルバムに相当するフォルダーと、アルバムの中の曲名に相当するファイルで構成されています。



1 を押す
●電源が入ります

2 を押し、SDカードに切り替える
●液晶表示部に「SD」が表示されます。



3 SDカードをSDカード挿入口に差し込む
●ラベル面を手前にして、奥までしっかり差し込んでください。
●液晶表示部に総フォルダー数と総ファイル数が表示されます。

4 を押す
●再生が始まります。再生中の操作のしかたは、17ページの「SDカード再生中の操作のしかた」を参照してください。
●液晶表示部にファイル番号と経過時間が表示されます。

お知らせ

- 液晶表示部に「- - -」が点滅しファイルを読み込みます。
- SDカードに複数のフォルダーが作られているときは、 を押すと切り替えることができます。
- ファイル数が多いと読み込みに時間がかかることがあります。
- 本機はMP3が再生できます。

・本機で再生できるSDカードについては6ページをご覧ください。

SDカード再生中の操作のしかた

再生する	再生/一時停止 を押す SDカードの再生が始まります。 ●再生ファイル番号と再生経過時間が表示されます。 ●1曲目から最終曲まで順に再生し、曲が終了すると停止します。
音量を調節する	を押す 小 大 ●音量は00～31の調節ができます。
一時停止する	再生中に を押す ●もう一度押すと再生が始まります。
前の曲や次の曲を聴く (スキップ)	再生中・一時停止中・停止中に を押す スキップ/サーチ 選曲 ● を押すと次の曲へ進みます ● を1回押すと再生中の曲の頭に戻り、2回押すと前の曲に戻ります。
早送りや早戻しをする (サーチ)	再生中または一時停止中に を聴きたい所まで押したままにする スキップ/サーチ 選曲 ● を押すと早戻しになり、 を押すと早送りになります。
前のフォルダーの曲 や次のフォルダーの 曲を聴く	SDカードに複数のフォルダーが作られているときは、 を押すと切り替えることができます。 再生中に を押す ● を押すと次のフォルダーへ進み、 を押すと前のフォルダーに戻ります。

使
い
か
た

いろいろな聴き方 (再生時の共通操作)

プログラム再生

CDやSDモードのとき、あらかじめ設定した曲順に再生することができます。

1 再生を停止し、**2** を押す

- 液晶表示部に「PRG」が点滅し、プログラム番号「P01」が表示されます。



2 「PRG」が点滅している間に、

- **スキップ/サーチ** を押して、プログラム予約をしたいトラック番号(曲番)を選ぶ



プログラム1にCDの5曲目を設定している例

3 **2** を押し、決定する

- P01 が登録(プログラム)され、次のプログラム設定「P02」が表示されます。



4 「PRG」が点滅している間に、

- **スキップ/サーチ** を押して、P02で再生するトラック番号(曲番)を選ぶ



プログラム2にCDの8曲目を設定している例

5 引き続きプログラムを設定する場合は、手順3～4を繰り返す

- 最大20曲までプログラム設定できます。20曲を登録すると「FULL」と表示されます。

6 **停止** を押す

- プログラム設定を終了します。

7 **再生一時停止** を押す

- P01 から設定したプログラム再生が始まります。



● プログラム登録の消去をするには

- 停止中に他の音源を選ぶか電源を切るとプログラム登録は消去されます。ディスクの場合、CDふたを開いたときもプログラム登録は消去されます。

リピート再生・ランダム再生

停止中や再生中に **1** を押す

1 を押すたびに、次のように切り替わります。

「REPEAT」(点滅) ⇒ 「REPEAT」(点灯) ⇒ 「RANDOM」 ⇒ 解除



<p>「REPEAT」(点滅) 1曲リピート再生</p>	<p>① 1 を押す リピート/ランダム スキップ/サーチ</p> <p>② スキップ/サーチ を押してリピートしたい曲番を選ぶ 選局 再生一時停止</p> <p>③ 再生一時停止 を押す</p> <p>選んだ曲を繰り返し再生します。</p>	
<p>「REPEAT」(点灯) 全曲リピート再生</p>	<p>① 1 を2回押す リピート/ランダム スキップ/サーチ 再生一時停止</p> <p>② 再生一時停止 を押す</p> <p>全曲を繰り返し再生します。</p>	
<p>「RND」 ランダム再生</p>	<p>① 1 を3回押す リピート/ランダム</p> <p>全曲をランダムに演奏した後、停止します。</p>	
<p>リピート再生/ ランダム再生の取消</p>	<p>リピート再生中またはランダム再生中に表示が消えるまで 1 を押す</p>	

- プログラム再生の時でもリピート(1曲リピートと全曲リピート)再生は使えます。


ラジオを聴く

受信する

- 1  を押す
- 電源が入ります。

- 2  を押してFMまたはAM放送を選ぶ
-  を押すごとにFMとAMが切り替わります。




- 3  を押して放送局を選ぶ
- 長押ししてボタンから指を離すと、自動で放送局を受信して停止します(自動受信)。
 - 受信ノイズ(雑音)により停止する場合があります。再度自動受信を行ってください。





放送局(受信周波数)を登録させる(プリセット)

お好みの放送局を、FMとAMそれぞれ4局まで登録できます。

●好みの放送局を選んでプリセット





- 1 FMまたはAM放送を受信しているとき、 を押して登録したい放送局を選ぶ



- 2 登録させたいお好み選局ボタン(、、 または ) を長押しする
- 液晶表示部の「PRG」と選択した番号が点滅して、放送局が登録されます。



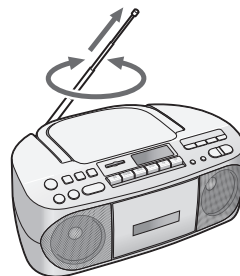
- 3 他の局をプリセットするときは、手順の1、2を繰り返す

プリセットした放送局を選ぶ	ラジオを受信しているとき、  、  、  または  を押す
---------------	---

よりよい受信をするために

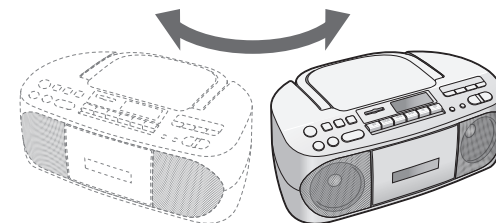
FM放送

アンテナを伸ばし、最も良く聞こえる方向に向けてください。



AM放送

本体の向きを変えてください。



お願い

- FMアンテナを取り扱う場合は無理に曲げたり、収納しないでください。アンテナが破損する可能性があります。
- 近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、本機のラジオにテレビやパソコンからの雑音が入る場合は、本機をテレビやパソコンから離してご使用ください。

FMステレオ放送の受信について

- ステレオ放送を受信すると「ST」が表示されます。受信状態が悪化すると自動的にノイズの少ないモノラルに切り替わり、「ST」表示は消えます。
- AMステレオ放送には対応していません。

使
い
か
た

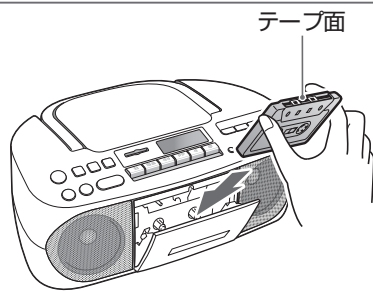
テープを聴く

- 1 を押す
●電源が入ります。

- 2 を押してテープに切り替える
●液晶表示部に「TAPE」が表示されます。



- 3 を押して、カセットふたを開けカセットを入れる
●再生する面を手前にして、テープが見える方を上にして入れます。



- 4 カセットふたを閉める

- 5 を押す
●再生が始まります。

お知らせ

- 再生中にテープがすべて巻き取られると、自動的に停止します。
- 再生中の操作のしかたは、23ページの「テープ再生中の操作のしかた」を参照してください。

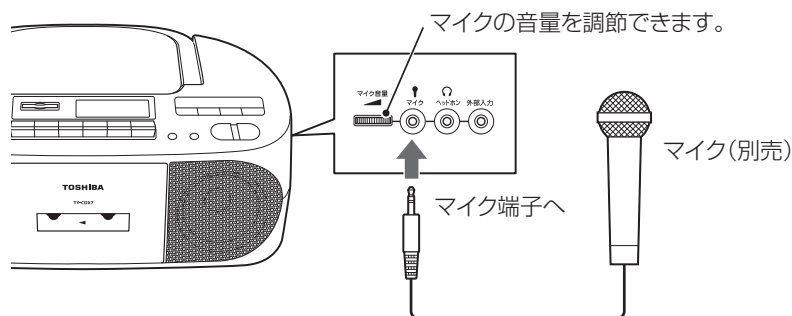
テープ再生中の操作のしかた

再生する	を押す テープの再生が始まります。
音量を調節する	を押す 小 ▶ 大 ●音量は00～31の調節ができます。
一時停止する	再生中に を押す 一時停止 ●もう一度押すと再生が始まります。
停止する	再生中に を押す 停止/取出し ●もう一度 を押すと、カセットふたが開きます。
早送りや巻き戻しをする	停止中に または を押す 早送り 巻き戻し ●止めたいところで を押します。 ●テープを巻き終えたら を押してください。 を押さないと早送りまたは巻き戻しが解除されません。

お願い

- 早送りまたは巻き戻し中に や を押さないでください。テープの巻きつきの原因になります。
- 早送りまたは巻き戻しでテープを巻き終えたら必ず を押して解除してください。
- テープを再生/録音中は電源を切らないでください。電源を切る前に、 でテープ再生/録音を停止して下さい。

カラオケを楽しむ



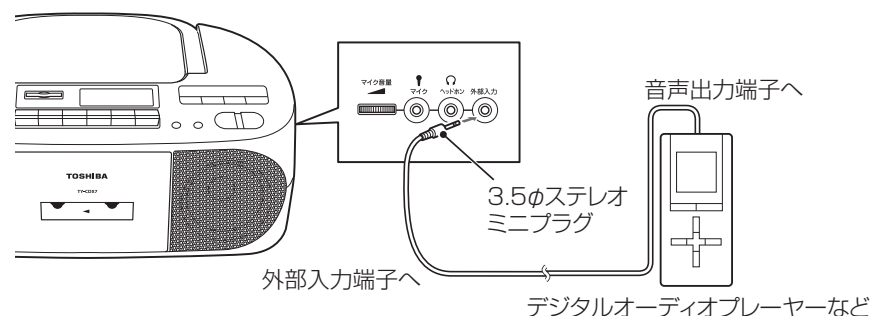
- 1 を押す
 - 電源が入ります。
- 2 本機のマイク端子にマイク(別売)を接続する
- 3 を押してカラオケを楽しみたい音源に切り替える
- 4 を押す
 - 再生が始まります。曲に合わせて歌ってください。

カラオケで使える便利な機能

カラオケ用に楽曲の歌声を小さくする (ボーカルダウン機能)	<p> を押す</p> 再生中の楽曲から歌声だけを小さくして、カラオケ用の音楽にできます。 <ul style="list-style-type: none"> ・もう一度押すと、歌声が元に戻ります。 ・歌手の音域および音源によっては、歌声が十分に小さくならないときがあります。
マイクの音声にエコーをかける	<p>リモコンの を押す</p> マイクの音声にエコーがかかります。 <ul style="list-style-type: none"> ・もう一度押すと、エコーは解除されます。

外部音声機器を聴く

外部入力端子に 3.5φステレオミニプラグ付接続コード(別売)をつないで、携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーなどを接続して本機のスピーカーから音声を楽しむことができます。



- 1 を押す
 - 電源が入ります。
- 2 外部音声機器の音声出力端子(イヤホン端子、ヘッドホン端子、ライン出力端子)と本機の外部入力端子を接続する(接続コードは別売)
- 3 を押して外部入力に切り替える
 - 液晶表示部に「LINE」が表示されます。
- 4 本機に接続した音声機器を再生する
 - 本機のスピーカーから音声が流れます。



お知らせ

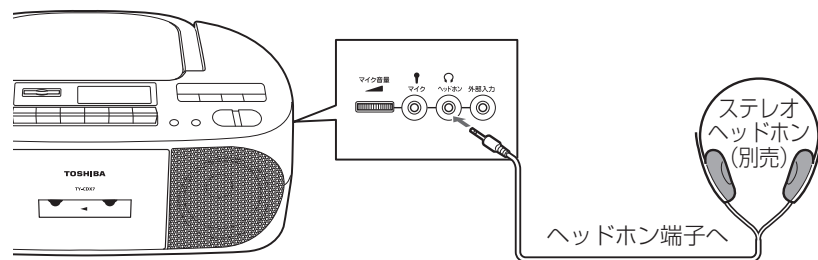
- ・携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーと接続するコードは、3.5φステレオミニプラグ付接続コード(別売)を使用してください。

使
い
か
た

ヘッドホンで聴く

3.5φステレオミニプラグ付のステレオヘッドホン(別売)を側面のヘッドホン端子に接続する


・ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。



スリープ機能を使う


一定時間後に本機の電源を切ることができます。

▼下記の操作説明は60分後にCDの再生を停止する(電源切る)例です。



1 リモコンの  を押す

●液晶表示部に「SLEEP」とスリープタイマーが表示されます。

2 再び  を押す

●  を押すたびにスリープタイマーが120 → 90 → 60 → 30 → 15(分)…と切り替わります。希望の時間を選んでください。



スリープ機能を解除するには	スリープ  を押して、スリープタイマー「OFF」を選ぶ 液晶表示部の「SLEEP」が消えます。 ・電源を切ってもスリープタイマーは解除されません。
スリープタイマーの残時間を確認するには	スリープ  を押す 液晶表示部にスリープタイマーの残り時間が表示されます。

SDカードに録音する

CDやラジオ、外部入力などの音声をSDカードに録音することができます。

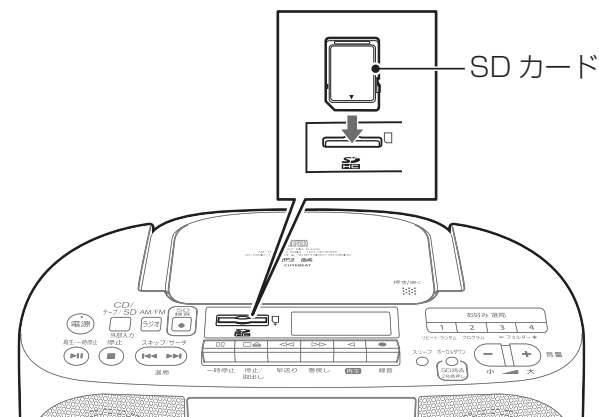
SDカードを準備する

1  を押す

●電源が入ります。

2 SDカードを挿入口に差し込む

●差し込んだSDカードを認識したことを確認してください。「noSd」が表示されたときは認識されていません。



お知らせ


- 録音できる音源はCD/MP3ディスク、ラジオおよび外部入力機器です。
- SDカードのロックを解除してから挿入口に差し込んでください。

SDカードに録音する(つづき)


CD/MP3ディスクを録音する

■ CDを準備する

1  を押し、CDに切り替える

2  を押し、CDふたを開け、印刷面を上にしてディスクを入れる

■ 全曲録音する

1 再生が停止し、再生総時間または総トラック数が表示されている状態で  を長押しする



- 液晶表示部の「REC」が点灯表示されるまで押し続けてください。




2 音楽が再生され、CD/MP3ディスクの全曲が録音されます

- 録音を中止するときは  を押してください。


■ 一曲録音する

1  を押し、録音したい曲を選び、 を押し再生する

2  を長押しする

- 液晶表示部の「REC」が点灯表示されるまで押し続けてください。
- 録音を中止するときは  を押してください。

お知らせ

- SDカードの容量がいっぱいになると自動的に止まります。
- スリープ機能を設定しているときは、録音中でも時間が来ると電源が切れます。
- プログラム設定時に録音をすることができます。
- 録音中はSDカードを抜かないでください。データが壊れる場合があるので必ず  を押ししてから抜いてください。
- 録音を停止するごとに次の録音の時は新しいファイル番号に切り替わって保存されます。
- CD/MP3、テープ、ラジオ、外部入力はそれぞれ別のフォルダーとなります。

ラジオを録音する

1  を押し、FM または AM 放送を選ぶ

2  を押し、録音したい放送局を選ぶ

3  を長押しする

- 液晶表示部の「REC」が点灯表示されるまで押し続けてください。
- 放送されているラジオ音声録音されます。



4  を押す

- 録音が停止します。

SDカードに録音する(つづき)

外部入力を録音する

1  を押して外部入力に切り替える

2 外部入力端子に録音したい外部入力機器を接続する

3  を長押しする

- 液晶表示部の「REC」が点灯表示されるまで押し続けてください。



4 外部入力機器を再生する


- 音声再生をしてから  を押すと、頭の部分が録音されないことがあります。

5 外部入力機器の再生を止める

6  を押す

- 録音が停止します。

テープを録音する

1  を押してテープに切り替える


2 録音したいカセットを入れる

3  を長押しする

- 液晶表示部の「REC」が点灯表示されるまで押し続けてください。



4  を押してテープを再生する

- 音声再生をしてから  を押すと、頭の部分が録音されないことがあります。

5  を押してテープの再生を止める

6  を押す

- 録音が停止します。

録音したデータを消去する

録音したデータを消去します。

ご注意

- 消去したデータは元に戻すことはできません。

SDカードを準備する

1 電源を押す

- 電源が入ります。

2 CD/テープ/SD外部入力を押して、SDカードに切り替える


3 SDカードを挿入口に差し込む

- 差し込んだSDカードを認識したことを確認してください。「noSd」が表示されたときは認識されていません。

データの消去

● ファイルまたはフォルダーを消去する

1 消去したいファイルを選択して(フォルダの場合は「3」「4」で選んで)、を長押しする

- 液晶表示部の「DEL」と、ファイルまたはフォルダー表示が点滅します。
- 消去を中止するときは、を押してください。



2 液晶表示部が点滅中に、再びもう一度 を長押しする

- 選んだファイルまたはフォルダーが消去されます。

お知らせ

- フォルダー内のファイルが全て消去されると、そのフォルダーは消えてしまいます。そのフォルダー番号以降のフォルダー番号が繰り上げます。

● SDカード内のデータをすべて消去する

1 液晶表示部に総フォルダー数または総ファイル数が表示されている状態で、 を長押しする

- 液晶表示部の「DEL」と「ALL」が点滅します。
- 消去を中止するときは、 を押してください。




2 液晶表示部が点滅中に、再びもう一度 を長押しする


- SDカード内のすべてのデータが消去されます。

テープに録音する



1  を押す
●電源が入ります。

2  を押して、カセットふたを開けカセットを入れる
●録音する面を手前にして、テープが見える方を上にして入れます。




3 カセットふたを閉める
●録音を始めるテープ位置で停止させておきます。

4 ●CDを録音するとき： を押し、CDに切り替えてからCDを入れる

CDが読み込まれ、総曲数と総演奏時間が表示されます。


- 総曲数と総演奏時間が表示されてから  を押してください。
- 希望の曲から録音したいときは、曲番を選びます。
- プログラム録音したい場合は、先に  を押してプログラムの設定をしてください。

CD シンクロ録音について：



- CD停止状態中に  を押すと、1曲目から自動再生し、録音されます。
- CD再生中に  を押すと、その曲の先頭に戻り再生し、録音されます。
- CD一時停止中に  を押すと、そこから録音が始まります。

●ラジオを録音するとき： を押して、放送を受信する


●SDカードを録音するとき： を押してSDカードモードにして、SDカードを再生する





●外部機器を録音するとき： を押して外部入力モードにして、外部機器を再生する

●マイクで録音するとき： を押して外部入力モードにする

5  を深く押す
 も同時にさがり、録音が始まります。

お知らせ

- AMラジオを録音中にビート音(「ピー」の音)が聞こえる場合、 を押してください。受信状態により、ビート音の大きさが変わります。

録音の一時停止	録音中に  を押す ●もう一度  を押すと、再び録音が始まります。
録音を止める	録音中に  を押す ●もう一度  を押すと、カセットふたが開きます。

お手入れのしかた

お手入れのときは、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体のお手入れ

柔らかい布でよごれを軽く拭き取ってください。よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

お願い

- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

CDピックアップ(レンズ)部

- ほこりなどは、市販のプロワーでレンズを2、3回吹き、ブラシの先でほこりを掃き出します。
- 指紋などレンズについた汚れは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけ、レンズの中心から外に向かって、円を描くように軽くふいてください。

テープヘッド部

- 市販のクリーニングキット(またはクリーニングテープ)のご使用をおすすめします。
- 市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、テープが触れる面を軽くふいてください。

故障かな?と思ったとき

症状	原因	処置方法
電源部		
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量レベルが下がっている ●ヘッドホンが差し込まれている ●音源切替があていない ●電源プラグがはずれている 	<ul style="list-style-type: none"> →音量レベルを調節する →ヘッドホンをはずす →音源切替を合わせる →電源プラグをコンセントに確実に差し込む。
CD部		
再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> ●CDが裏返しになっている ●CDがよごれている 	<ul style="list-style-type: none"> →ラベル面を前にして入れる →清掃する
音かとぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●CDに大きな傷やそりがある ●振動する場所に設置している 	<ul style="list-style-type: none"> →CDを取り替える →振動のない場所に設置する
SDカード部		
音が出ない	●SDカードに傷がある	→SDカードを交換する
再生できない	●6ページ「SDカードについて」に記載されたSDカードではない	→6ページ「SDカードについて」に記載されたSDカードと交換する
テープレコーダー部		
カセットが入らない カセットふたが閉まらない	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットの向きが上下逆になっている ●カセットが正しく入っていない 	<ul style="list-style-type: none"> →テープの見えている方を上にして入れる →カセットを正しく挿入する
テープが走行しない	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットの不良 ●テープが全部巻き取られている 	<ul style="list-style-type: none"> →カセットをとりかえる →カセットを裏表入れ替える
録音ボタンが押せない	●ツメの折れたカセットを装着している	<ul style="list-style-type: none"> →カセットをとりかえる →録音し直すときは、セロハンテープで誤消去防止穴をふさぐ
録音ボタンがロックできない	●カセットの不良	→カセットをとりかえる
音がとぎれる、音程が狂う 消去が不完全	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッド部が汚れている ●ハイポジションやメタルテープを使っている ●乾電池が消耗している 	<ul style="list-style-type: none"> →清掃する →ノーマルテープを使用する →乾電池を交換する
ラジオ部		
雑音が多く聞きづらい	<ul style="list-style-type: none"> ●電源雑音の影響を受けている ●モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている ●電波が弱い 	<ul style="list-style-type: none"> →電源プラグの刃向きを差し換える →本機を雑音源から離す →テレビを消す。またはテレビから離す →アンテナを調節する

お願い

- CDの再生中に、表示や動作が異常になった場合は、一度電源ボタン(電源)を押し電源を切ってから電源プラグをはずし、再度電源プラグをつないでから「CD」に戻して、操作し直してください。
- 長時間使用していると、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

仕様

CD部	
チャンネル数	2チャンネルステレオ
サンプリング周波数	44.1kHz
メディア	CD、CD-R/RW (CD-DA フォーマット / MP3 オーディオファイルで記録された音楽ディスク)
SDカード部	
再生形式	MP3 (MPEG-1 Audio Layer 3 (~128Kbps))
ビットレート	128Kbps
対応メモリー	SDカード (別売) (32MB ~ 2GB)、SDHCカード (別売) (4GB ~ 32GB)
再生可能SDカード	SDA規格認定品 (Class2、Class4)
カセットテープレコーダー部	
トラック方式	4トラック 2チャンネル
録音方式	ACバイアス録音
消去方式	マグネット消去
早送り・巻戻し時間	約3分 (C60)
推奨テープ	ノーマルカセットC60
ラジオ部	
受信周波数 (*)	FM: 76 ~ 108MHz (0.1MHz ステップ) AM: 531 ~ 1,710kHz (9kHz ステップ)
共通部	
電源 (*)	AC100V 50 / 60Hz 単2形乾電池×6本 (別売) 電池寿命: CD再生時 約13時間、ラジオ受信時 約14時間、 テープ再生時 約13時間、SDカード再生時 約14時間
スピーカー (*)	8cmφコーン型 (4Ω) × 2
実用最大出力 (*)	1.7W+1.7W
入出力端子	外部入力: 3.5φステレオミニジャック マイク入力: 3.5φミニジャック ヘッドホン出力: 3.5φステレオミニジャック
消費電力 (*)	12W
最大外形寸法 (*)	300 (幅) × 115 (高さ) × 212 (奥行) mm (突起物含まず)
質量 (*)	約1.9kg (乾電池含まず)
付属品	電源コード、リモコン、保証書付取扱説明書

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

(*)印は(社)電子情報技術産業協会の定める「JEITA規格」による測定値。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エルイトレーディングサポートセンター

 **0120-28-0488**
受付時間: 365日 9:00~20:00
携帯電話・IP電話など
050-3786-0488 (通話料: 有料)
FAX
03-3258-0470 (通話料: 有料)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (一体)

補修用性能部品の保有期間

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
- SD/CD ラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

持込修理

37ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
●本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

保証期間中は..... 修理料金のしくみ.....

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは.....

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。

技術料 故障した商品を正常に修復するための料金です。

部品代 修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年 月 日
	お買い上げ店名	電話 ()



長年ご使用の機器の点検をぜひ!

このような症状はありませんか。

- ACアダプターが傷んでいる
- 煙が出る
- 変なにおいがする
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

このたびは